入選

岡﨑　陽香（おかざき はるか）　散田小　３年生

作品名：ペットを飼う覚悟や責任

図　書：捨て犬・未来と捨てネコ・未来

私は、捨て犬･未来と捨てネコ･未来という本を読みました。以前捨て犬･ネコだった未来ちゃん、未来くんのお話です。

ある日犬の未来ちゃんの飼い主の今西さんが少年院の命の授業で、このような話をしました。それは、犬の未来ちゃんは昔目や足を切られた後で捨てられて、動物愛護センターに保護されて殺処分されそうになったこと。でもその前日に、山口さんという人が助けてくれたということでした。そして最後に今西さんは、

「誰かの命を輝かせるのも人間、誰かをボロボロに傷つけるのも人間です。同じ人間として生まれてきたのなら、みなさんはどちらの人間として生きていく方が幸せになれますか。」

と言いました。私は、捨て犬や捨てネコを助けて、命を輝かせた山口さんたちはすてきだなと思いました。逆に犬やネコを傷つけたり捨てたりする人はひどいなと思いました。こんな人にならないためにはどうしたらいいか考えました。

ペットを飼うには覚悟や責任が必要です。お金は足りるか、世話やしつけはきちんとできるかなどということを飼う前に考えなければいけません。

実はエサ、ケージ、トイレをふくめ、犬・ネコで一年で三十万円以上もかかるのだそうです。もちろん病気になったら治療費も必要になってきます。しかしお金だけでなく、しつけの時間も必要です。さんぽなどの時、人にほえたりかんだりしないようにしつけなくてはなりません。

それからただ子犬や子ネコがかわいいとだけ言って飼うと、思っていたより大きくなってかわいくなくなったと言って捨ててしまう人もいます。私はそれはいけないなと思います。

私のおじの家ではモコ太という犬を飼っています。いとこはまだ赤ちゃんなので、おじたちは、赤ちゃんのお世話もしなくてはならず、犬のしつけなどをする時間もあまりなくて飼うのが大変そうです。だけど、責任を持って飼っていると思います。

私はネコを飼いたいです。なぜなら、かわいくて好きだからです。でも、父は動物があまり好きではありません。自分ではお金は出せないし、学校や習い事で時間がなく、一人で面どうを見ることはできません。だから今は飼っていません。でも、大人になって、ちゃんとお金をためて世話をできるようになったら、覚悟と責任を持ってネコを飼うつもりです。